後期高齢者医療制度からのお知らせ

■被保険者証が新しくなります

【問合わせ】国保年金課　☎84-0652

新しい被保険者証を今年度は全員に2回送付します。7月中旬に送付する「赤茶色の被保険者証」の有効期限は令和4年9月30日です。10月以降は9月に改めて送付する「青色の被保険者証」をお使いください。「青色の被保険者証」の有効期限は、令和5年7月31日です。

※簡易書留で送付します。郵便局に転送の届出をされていても、保険証は転送先には届きません。保険証を住民票の住所地以外で受け取りたい場合は、別途市役所で手続きが必要です。

■窓口負担割合（一部負担金の割合）の変更

10月1日から被保険者のうち一定以上の所得のある方は、現役並み所得者（窓口負担割合3割）を除き、医療費の窓口負担割合は2割になります。ご自分の負担割合が変更になるかどうかは、9月頃に届く2回目の被保険者証でご確認ください。

相談・問合わせ　あいち後期高齢者医療コールセンター　☎0570-011-558

7月11日（月）～12月28日（水）　※土日祝を含む　8時45分～17時15分

■令和4年度の後期高齢者医療保険料の算出方法と軽減措置■

年間保険料額は、被保険者の所得に応じて負担する「所得割額」と被保険者全員が等しく負担する「均等割額」を合計して計算します。※令和3年度と比べ、保険料率や限度額などが変更となっています。詳しくは、市報4月号をご覧ください。

保険料の算出方法

所得割額（所得金額－基礎控除額※）×所得割率9.57%　＋　均等割額　被保険者一人当たり49,398円　＝　保険料額（限度額66万円）※100円未満切捨て

※基礎控除額については、16ページをご覧ください。

■保険料軽減措置■

所得の低い世帯の方の軽減（均等割額の軽減）

世帯主及び被保険者の合計所得に応じて、以下のとおり軽減します。

対象者の所得要件	軽減割合
㋐43万円+10万円×（給与所得者等の人数－1）以下	7割（34,579円軽減）
㋑43万円+（28.5万円×世帯の被保険者数）+10万円×（給与所得者等の人数－1）以下（㋐を除く）	5割（24,699円軽減）
㋒43万円+（52万円×世帯の被保険者数）+10万円×（給与所得者等の人数－1）以下（㋐、㋑を除く）	2割（9,880円軽減）

※65歳以上の方の公的年金所得は、通常の所得から15万円を控除した額で判定します。

国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険の保険料（税）の納付方法について

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料の納付方法は、それぞれ年齢や所得などによって条件は異なりますが、「特別徴収」と「普通徴収」の2つの方法があります。

種　別	納付方法	納　期
特別徴収	年金から保険料（税）があらかじめ差し引かれる方法です。	年金の支給月（年6回）
普通徴収	年8回の指定された納期限までに、納付書または口座振替により納めていただく方法です。	7月から翌年2月（年8回）

口座振替をご利用ください

普通徴収の方は、口座振替を利用すると保険料（税）の納付忘れがなく、安全で便利です。

ご希望の方は、通帳と通帳印をお持ちのうえ、市内の金融機関・ゆうちょ銀行（郵便局）または、市役所にお申込みください。※保険料（税）の口座振替開始は、届出後の1～2か月後です。

特別徴収　【徴収イメージ】

※前年度から引き続き年金から天引きされている方

※年金からの天引き開始時期は、各保険制度により異なります。開始時期までは納付書または口座振替（普通徴収）での納付になります。

令和3年度　2月 ▸▸▸ 令和4年度　4月 ▸▸▸ 6月 ▸▸▸ 8月 ▸▸▸ 10月 ▸▸▸ 12月 ▸▸▸ 2月

仮徴収

前年の所得が確定していないため、前年度2月と同じ保険料（税）額

※6月分・8月分の額が変更となる場合があります。

本徴収

年額保険料（税）から仮徴収で納めた分を差し引いた額を3回に分けた額